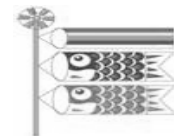


社長、元知ですか!



~ご挨拶~

こんにちは。もうすぐGWですね! 皆様はどのように過ごされるご予定でしょうか?

ちなみに私は実家に帰って家族とのんびりしてきます。うちは3姉妹なのでの姉と飲み明かしてきます。ですが、家族全員が揃うことはあまりないので今から楽しみです。

一人でワイン2本あけてしまう酒豪の姉と飲み明かしてきます。だいたい潰されかけけるのですが(笑)。

また、ブログ始めました。お時間ある時に遊びに来ていただくと嬉しいです。よろしくお願い致します。

<http://www.ecologi.net/akutsu/>
<http://ameblo.jp/wa-ka-nyan/>

阿久津 若奈

吉橋本 直行 物持ち自慢

ご機嫌様です。橋本です。写真は、私の宝物のひとつ、「LEVI'S 503XX」です。もちろん、「E」が大文字なのがポイントです。ただし、本物のヴィンテージではなく、復刻版ですが…。でも、このジーンズ、もうだいぶ長い間、はいています。20年前(18歳)に、大阪・難波のアメリカ村で買いました。リジッド(未洗い)だったので、元は濃紺でガシガシに堅かったのですが、今は柔らかくなって、布地が薄～くなってしまっている箇所が多々あります。要注意です。結論として、私、かなり物持ちがよい方だと、自負しております。

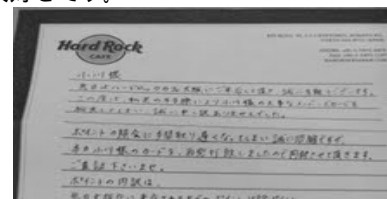
この他にも、10数年~20数年選手が、家には結構います。ジーンズ、Gジャン、バッグ、靴...etc...多くの物は持っていませんが、気に入った物は、異常に大事にし、長く使っています。母方の祖父は、私が小学生の頃(1980年代)、まだ白黒のテレビを視ていました。その血がもしもありません。機会があれば、皆様の物持ち自慢もお聴かせいただきたいです!



式小川 宏明 お詫び状

先日お手紙をいただきました。お詫び状というやつです。実はある飲食店に行ったところ、お会計表に挿んでいたメンバーズカードが店員さんが追加注文時に持ち運んだ際になくしてしまっただけです。なくなったことに気づいた私が店員さんに事情を説明し、探してもらいましたが出てこず...そんなこんなで、再発行ということで、先日改めてカードが届きました。それと一緒に手書きの手紙(お詫び状)が同封されていました。PCが普通に使われる今、お詫び状だろうが何だろうが電子化しているにも関わらず手書きのお詫び状。メンバーズカードなんて再発行すればなんともないこと

なのにここまで徹底した対応。感動しました。よくクレームからファン客を生み出すということが言われますが、正にこのことかと思えます。この何でもない手紙、実はいつも私の手帳の中で大切に保管しています。自分への戒めとしての意味も込めて。そんなこんなで私は「Hard Rock Cafe」が大好きです。



参河内谷 庸高 「広島焼き」

大阪生まれの河内谷にとって広島焼きはあまり食べる機会がないのですが、年に数回広島に出張する際はせっかくなので、本場の広島焼きを食べるようにしています。先日は、広島駅南口を出てすぐのところにある「ひろしまお好み物語 駅前ひろば」に橋本と行ってきました。約400坪のフロアに十数店舗のお好み焼きやが軒を連ねる、フードテーマパークです。その中の「縁奇縁」というお店で食べたのですが、これがなかなか美味しかったです!そして何より、味はさることながら、お店の方の対応も抜群で、マーケティングの参考になる点多々ありました。例えば、「自店の特長の伝え方」が秀逸でした。十数店舗ある中から、自店を選んでもらわなければなりません、通りすがりのお客様に対して声をかけられるのは数秒しかありません。つまり、そのわずかな間に自店のお好み焼きの特長・魅力を伝えられなければなりません。そこで印象に残るために、抽象的ではなく超具体的な項目にまで落とし込み、

また数字を使い他店との差別化ポイントを伝えているのです(いわゆるエレベーターピッチの要領です)。その他にも、食べる前に「記念に写真撮りましょうか?」と言って、そのお店の看板娘とホントの看板といっしょに写真を撮ってくれます。観光客が7割を占めるお店なので、積極的に写真を撮ることで、ブログに掲載してもらい、宣伝・見込み客集めているのだと思います。美味しいだけでなく、マーケティングの勉強になる点もありますので、広島に出張された際は、ぜひ一度立寄ってみてください。ひろしまお好み物語 駅前ひろば <http://ekimae-hiroba.jp/> 縁奇縁 <http://gourmet.suntory.co.jp/shop/0X00042089/> 平成23年3月11日に発生いたしました東日本大地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。



四齊藤 哲也 「新卒採用における学生の素の引きだし方」

4月も下旬に差し掛かり、来年度から入社する新卒学生の採用が本格的に進んでいる頃かと思えます。先日、私は先輩社員の同行でとある企業に伺った際、社長様から、「採用面接を行なっているが、学生の“素”を引き出せなくて困っている」という相談を受けました。その回答を得るために、会社の人事部長に相談をし、興味深い回答を得ることができました。共有させていただきたいと思えます。人の素を見るということを考える上でまず、そもそも「素」とは何かというと、仕事を行う上で重要度の高いマインドと考え方を引き出す事であるそうです。仕事の成果は、仕事の成果 = 才能 × 努力 × マインド(やる気) × 考え方 という式で表され、右に行くほど

重要になります。その「素を引き出す」ためには、マインドと考え方が出易いような環境におき、なおかつそれらが出て来やすい質問を投げかける。(例:「なぜ、そうしたのか」等を繰り返す。また、「他の方法は考えなかったのか?」と揺さぶってみる) 質問の返答に対しては、言っている事ではなく、その行動を起こした背景にある気持ちを押し量る。そして、判断をする上で最も大事なものは、「自社と重なり合う考え方を持っているか」という事でした。自社はどんなスタンスの会社であり、どんなマインドと考え方をを持った社員を採用したいのかを明確にすることが、すべてのスタートになると思います。少しでも、ヒントになれば幸いです。

